

資産運用レポート：歴史的安値を買う

1 はじめに

下図は、我が国を代表する優良企業、トヨタ自動車の月足チャートです。

自動車産業は典型的なシクリカル銘柄ですが、景気の影響を受けながらも、中長期的には上昇トレンドを描いています。1990年以降の、いわゆる「失われた20年」にて、日経平均に対して逆行高を演じた強い会社です。

チャート上で注目してほしいのは、緑色の120ヶ月（10年）移動平均線です。終値ベースにて、120ヶ月移動平均線を大きく下回っているのは、2003年前半、2008年後半から2012年にかけての2回しかありません。

まさに「歴史的安値」といっても過言ではないでしょう。ここで思い切って買いを入れ、株価が120ヶ月移動平均線を上回る時点まで持ちこたえられれば、どこで売っても利益が出ている計算になります。

同社株は、2016年6月に、久しぶりに120ヶ月移動平均線を下回りました。さらに下げようであれば、歴史的安値となり、長期投資派にとって千載一遇の投資チャンスが到来します。

今回の資産運用レポートでは「歴史的安値を買う」逆張りでは王道的な投資手法について取り上げます。

